

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会
令和元年度事業実施報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

鳥取県は、全国の中でも少子高齢化の進行が速く、労働力の減少が続いていることから、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが益々重要となっている。

県内の景気は、令和元年においては緩やかな回復基調にあり、有効求人倍率が昨年4月以降 1.7 倍を超える値で推移していたが、令和2年に入ってから下降して2月末時点では、1.58 倍となっている。特に、今年になって間もなくコロナウィルス感染の拡大に伴い、県内はもとより全国的に景気の後退局面になっており、経済を取り巻く状況は予断を許さない段階になっている。

このため、高齢者の就労促進は地域経済を支えるため喫緊の課題といえる。また、地域においては、高齢者一人暮らし世帯への支援、子育て支援、介護予防への取組、空き家の適切な維持管理等への対応などこれまで以上の需要が見込まれる。このため、引き続き多様な地域ニーズや企業の求人状況などを適宜把握し、就業開拓を積極的に進めるとともに、行政機関と連携した公益的分野への進出・拡大も行い、請負・派遣の事業展開では、受注件数、契約金額、就業延人員とも前年度実績を上回るべく取り組んできたところである。

これを実現するためには、会員の拡大が基本的条件となるため、改正高齢法39条による業務拡大の活用及び高齢者活躍人材確保育成事業による就業体験、技能講習を通じた会員の確保を最重要課題として取り組んだところである。

また、新規加入者の確保と同時に退会希望者に対する個人面談、就業ニーズに応じた就業斡旋等退会抑止の対策を講じたところである。しかしながら、国による高年齢者雇用確保措置が講じられたことなどにより新規加入の会員数が伸び悩んでいる。

しかし、各センター及び連合会の会員増加に向けての取組が功を奏し、令和元年度末において前年度と比較して3名の増加となった。

	会員数(人)	受注件数(件)	契約金額(円)	就業延人員(人)
令和元年度	3,612	28,471	1,251,502,422	292,767
平成30年度	3,609	28,681	1,232,530,018	296,505
前年比	△ 3	▼ 210	△ 18,972,404	▼ 3,738

1 安全・適正就業推進事業

シルバー人材センター事業は、安全適正就業が基本であり、最優先課題として組織的に取り組みを進めてきた。

(1) 安全・適正就業推進委員会の開催

第1回

- ① 令和元年6月7日（金）倉吉市 13名参加
- ② 令和元年度安全・適正就業推進基本計画の策定について
- ③ 平成30年度事故発生状況及び安全・適正就業対策推進事業実施状況について

- ④ 令和元年度安全・適正就業対策実施計画について
- ⑤ 令和元年度シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間実施要領について

第2回

- ① 平成2年2月12日(水) 倉吉市 13名参加
 - ② 令和元年度事故発生状況について
 - ③ 安全・適正就業推進事業の実施状況について
- (2) 安全就業講習会
- ① 東部地区 令和元年9月18日(水) 参加者18名
 - ② 中部地区 令和元年12月11日(水) 参加者12名
- (3) 安全指導者会議
- ① 東部地区(7月22日) 参加者5名
 - ② 中部地区(7月24日) 参加者6名
 - ③ 西部地区(7月29日) 参加者8名
- (4) 安全パトロールの実施
・県下16回(対象就業会員157名)
- (5) 安全・適正就業研修会の開催
令和元年7月17日(水) 倉吉市 参加者99名
- ① 安全就業標語入選者表彰
 - ② 講話 「高齢者の事故防止について」
鳥取県警察高齢者交通安全教育指導員シルバー・セイフティ・インストラクター
宍戸 隆 氏
 - ③ 事例発表 「安全・適正就業について」
(公社)大山町シルバー人材センター副理事長 高塚利夫 氏
 - ④ 事例発表 「剪定作業で日頃心掛けていること」
(公社)琴浦町シルバー人材センター剪定班班長 加藤祥雄 氏
 - ⑤ 事例発表 「就業中の事故事例発表(3件)」
(一社)八頭町シルバー人材センター事務局長 矢山 貢 氏

2 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の意義、理念及び事業活動を県民各層に広く周知するとともに、この事業への理解と参加を求めるため普及啓発活動を実施した。

- (1) 連合会機関誌「会報鳥取」の発行
令和2年1月 500部
- (2) 普及啓発月間(10月)の活動
10月19日(土)イオンモール日吉津店にてリーフレット等の配布

3 就業開拓事業

県内企業、官公庁・各種団体等を訪問し、多様な就業分野の開拓・拡大及び開拓した

情報をセンターに提供し、県内全域の就業開拓及び調整を行った。

(1) 就業機会開発推進委員会の開催

令和元年 8 月 9 日 (金) 倉吉市 15 名出席

①令和元年度就業機会開発推進事業基本計画について

②平成 30 年度就業機会開発実施状況について

(2) 就業開拓推進員の配置

・県内企業、官公庁等を訪問し就業機会の確保・提供及び新たな就業分野の開拓に努めた。 令和元年度 訪問件数 202 件 新規求人 16 人

(3) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

・県内企業及び官公庁等を訪問し、ホワイトカラー系の仕事を中心に就業開拓・情報提供に努めた。 令和元年度 訪問件数 202 件 新規求人 16 人

4 交流研修事業

シルバー人材センター事業全般に亘っての理解と事業活動の充実、発展を図るため、センター役職員、実務担当者を対象に資質の向上と意識の高揚を図るため研修会等を実施した。

(1) 経験交流大会

令和元年 10 月 30 日 (水) 倉吉市 参加者 80 名

基調講演「シルバーな活動でゴールドな人生を」

(医法・社福法) 真誠会理事長 小田 貢 氏

講 話 「シルバー事業について」

日南町シルバー人材センター会長 段塚 傑 氏

講 話 「事務局長に就任して 7 ヶ月を振り返って」

(公社) 境港市シルバー人材センター事務局長 木下泰之 氏

講 話 「シルバー人材センター事務局長に就任して」

(公社) 智頭町シルバー人材センター事務局長 寺坂英之 氏

講 話 「事務局長になって」

(公社) 岩美町シルバー人材センター事務局長 上野秀司 氏

(2) 中国ブロック役職員研修会 (開催県・広島県)

・役職員研修会 令和元年 9 月 25 日～26 日 (鳥取県参加者 21 名)

(3) 消費税引き上げに伴う研修会 倉吉市 35 名出席

講師 衣目公認会計士事務所 公認会計士・税理士 衣目成雄 氏

演題 「改正消費税法について」シルバー事業に対する影響は？

5 シルバー派遣事業

センター会員の就業・就労ニーズの多様化への対応と職域の拡大に加え適正就業の推進を図った。

(1) シルバー派遣事業運営委員会

第 1 回

令和元年 7 月 31 日 (水) 倉吉市 20 名参加

①平成 31 年度（令和元年度）派遣事業収支計画書について

②シルバー派遣の業務拡大の取組について

第 2 回

令和元年 9 月 13 日（金） 倉吉市 19 名参加

①公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会のシルバー派遣事業に関する諸規定の全部又は一部改正について

第 3 回

令和元年 12 月 17 日（火） 倉吉市 20 名参加

①同一労働・同一賃金について

②派遣会員の有給休暇の付与について

第 4 回

令和 2 年 1 月 17 日（金） 倉吉市 21 名参加

①派遣会員の有給休暇の付与について

②同一労働・同一賃金について

(2) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

実績 51,442 人日

6 シルバー事業支援要請行動

鳥取県、鳥取労働局に対し連合会への支援要請文及び全シ協決議文を持参しシルバー人材センター事業への支援要請を行った。

令和元年 7 月 22 日（月）

7 シルバー人材センター指導（原則 3 年に一度実施）

高年齢者雇用安定法第 47 条に基づき、その設置目的に沿った運営がなされているかの指導。連合会事務局長が全シ協から指導員として委嘱されたことに基づき実施した。

令和元年 11 月 6 日（水）北栄町シルバー人材センター

令和元年 11 月 20 日（水）智頭町シルバー人材センター

令和元年 12 月 4 日（水）南部広域シルバー人材センター

令和元年 12 月 6 日（金）大山町シルバー人材センター

令和元年 12 月 12 日（木）鳥取市シルバー人材センター

8 高齢者活躍人材育成事業

シルバー人材センターでの就業を希望する高齢者を対象に技能講習を実施した。

1 技能講習目標

(1) 講習定員 100 人に対し 実績受講者数 80 人

(2) 関連就業率 30%以上に対し 実績就業率 67.4%

2 技能講習の実施

(1) 講習数 10 講習、受講者数 80 人

(2) 受講者数のうちセンターによる関連就業者数 29 人（うち派遣就業者数 5 人）

(3) 受講後の入会者数 43 人

9 諸会議の開催

(1) 理事長・会長、事務局長会議 6月12日、10月23日、1月31日

(2) 理事会 6月4日、10月2日、12月13日、1月22日、3月25日

(3) 定時総会 6月19日